

一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	2年A巡	単元	実習	教科名	2A_ECCS2	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品			発行日	2026.4.1
総時限	24時限				教科 担当	石田圭佑
総時間	38.4時間					中川徹也
単位数	1					

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車整備士として、エンジン整備の実務経験がある教員によりエンジンの分解、組立、点検等及び自動車の電子制御系の整備経験がある教員により電子制御方法、点検方法等を指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①エンジンの電子制御装置の構造、機能を理解する。
- ②電子制御式エンジンの点検、故障診断の判定が出来る。
- ③外部診断機（コンサルト4）を用いてエンジンの点検が出来る。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ④エンジンの電子制御装置のセンサの構造、機能が理解出来るようになる。
- ⑤エンジンの回路図を読み取り、センサの点検、故障診断が出来るようになる。
- ⑥外部診断機（コンサルト4）を用いて的確にエンジンの点検が出来るようになる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
- ・合格点：60点以上
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

事前に次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。
実習ノートをもとに、各装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。
1年C巡エンジン3の実習ノートを基にエンジンの電子制御装置及び点検、故障診断を確認し復習する。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

